



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2012~2013 (平成24年~25年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日

2013~2014 RI テーマ 「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」



《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：釧路全日空ホテル 釧路市錦町3-7》

会長 那知 哲 幹事 山本 秀基

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 11月11日 12:30

普通例会

ロータリー財団月間プログラム

《次回のプログラム》 11月18日 12:30

普通例会

インターアクトに関するプログラム

2013年 11月11日(月) 第14回 通算2026回

【点鐘】 那知会長

【ロータリーソング斉唱】「それでこそロータリー」

ソングリーダー 佐藤(雅) 会員



【お客様と来訪ロータリアンの紹介】

パストガバナー補佐 釧路南RC 福井 克美 様

【会長挨拶】 那知会長



皆さんこんにちは。9日の土曜日に山本幹事とともに白糠町のレストランはなますで開催されました会長幹事会に行ってきました。葎本ガバナーの病状についての報告があり、快方に向かっているとのことでした。ハマナスでは、美味しい、白糠の海の幸、山の幸があり美味しくいただきました。中でも、ハマナス

特製の「厨房手作りプリン」がととても美味しく、ほとんどの人がプリンを買いました。地元で美味しい特産品があれば、地元でどんどん食べ・消費して、地元を盛り上げようと思いました。

話は変わりますが、12月23日の天皇誕生日に釧路西ロータリークラブの大事な行事であるクリスマスパーティーが開催されることが決まりました。クリスマス家族会には、多くの会員やご家族の方が参加されるようお願いいたします。また、入会を誘おうと考えている人もクリスマス家族会に誘って、釧路西ロータリークラブの和やかな雰囲気を楽しんでいただきたいと思いますので、多くの人を誘ってくださるようお願いいたします。クリスマスパーティーを担当される親睦委員会の皆様、よろしくお願ひします。

【幹事報告】山本幹事

1. 11月9日(土)第7分区第4回会長幹事会報告
2. 水からプロジェクト実施報告書拝受
3. 近隣クラブより会報・例会案内

【委員会報告】

- 広報委員会 八村 委員長
 - *ロータリーの友 12月号の紹介
- 地域発展委員会 佐久間委員長
 - *献血(11/12)支援協力について
- 親睦活動委員会
 - ニコニコ献金
 - *本人誕生 松田 会員 佐藤(和) 会員
 - *奥様誕生 松田 会員
 - *結婚記念 松田 会員 八村 会員



【本日のプログラム】

担当 ロータリー財団・米山記念奨学会委員会

《谷口委員長欠席につき石川国際奉仕委員長》



●経歴紹介

1991年、釧路南ロータリークラブに入会。

今年で22年目。

1998年から1999年まで会長。

2004年から2005年度まで2500地区第7分区のガバナー補佐を経て現在2500地区ロータリー財団部門パケーションナルトレーニングチーム・VTT研修チームのチームリーダー

■ゲスト卓話

福井克美 パストガバナー補佐 (RI2500 地区ロータリー財団部門 VVT チームリーダー)



どうもみなさん、こんにちは。釧路南ロータリークラブの福井と申します。今日はどうぞよろしくお願いいたします。今日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。なかなかこのVTTチーム、昔はGSE委員会でしたけれども、前年度まではGSE委員会の委員長をさせていただきまして。ただ、今年度から夢計画が始まるということで、GSEの事業というのは少し中断しております。足立ガバナーがやりたかったらしいのですが、VTTが控えているということで、少しGSEの予算を蓄えておき、新年度のVTTのチームの事業に対して少し残しておこうということで。それまでは準備年間ということで2年くらいVTTについて勉強させていただいておりました。

笹谷さんが、何度も会の方に行かれて3330地区との間でVTTをやりたいということで打診をしております。3年前に、世界で100地区がパイロット地区というもの選ばれて、そこはVTTを推進できました。ところが、この2500地区はVTTのパイロット地区に選ばれなかったものですから、なかなか選ばれた国と選ばれなかった国との間で推進するというのはハードルがありまして、限られてしまうのです。GSEは出来てもVTTは出来ない、3330地区はパイロット地区に選ばれていたものですから、少々噛み合わない所があり、新年度全世界で、今年度からVTTは出来るということでそれまで待とうということで今回実施に至ったということになりました。

まず、財団、今月は財団月間ということですが、財団の使命の中に「ロータリアンの健康状態改善」「教育への支援」や「貧困救済」「世界の理解、親善・平和」ということでVTTも今回からはグローバル補助金というものを使わせていただいたのですが、地区補助金の場合はいいのですがグローバル補助金の場合には3つの重点項目がありまして、その中から選ばなければならないということで今回の場合は「医療・歯科医療チーム」ということで、健康、子どもたちへの形成に対しての支援、世界の理解・親善ということで使命の中に含まれていたのではないかと考えています。

今年度はVTTが初めて移ったということですが、過去にGSEでは西クラブさんにもホームステイ等をお願いして、色々お世話になっていました。3330地区とのGSE研究グループ交換をやりまして、その時も会の方から5名、釧路7分区、それと北見第6地区（すなわち道東地区）を回っていただきまして、それぞれ皆様にホームステイをお願いし、協力していただきましたので、少しGSEは馴染みがあるかと思います。VTTになりますと、今までと大きく異なりまして、大きくは補助金の問題なのですが、新しい補助金が「地区補助金」と「グローバル補助金」「パッケージランド」がありまして、一番上の地区補助金を使う場合は今まで通りGDFの中から予算を出しますので、その地区の中で裁量がある、と。今回6万ドル位の予算だったものですから、グローバル補助金ということになりましてGDFプラスWFということで国際財団活動資金からGDFと同額もらえるんですね。補助金の下限が15000ドルから上限が20万ドル。地区補助金の場合には3万ドル未満ということで限定されてしまうものですから、今回はグローバル補助金を使わせてもらいました。3番目のパッケージランドというのも職業研修チームでできるんですけども、この場合はある程度決められた枠の中でやっているものですから大学とかそういった世界的に指定された事業・プログラムしか使えないものですから、それは今回使いませんでした。

地区補助金は皆さんお馴染みの地区補助金ですね。これは地区の予算を使って職業研修チーム、できます。その場合は国内・国外関係なく職業研修チームで、できるんですね。職業研修チームの構成人数や期間の制約はGSEに近いんですけどもGSEよりは割と額がいいんですね。GDFの50%以下の活動資金と、あとは期限の制限が無いことですね。

クラブでは植樹だとか南だと市立病院のパイロットのウェアの寄付ですね。そういうものに使わせてもらっています。ただ今度、MOUといって覚書を交わさなければならない、と。地区とクラブの間で。地区が今回グローバル補助金を使って2500地区でやった場合は、財団本部の方でMOUを交わすんですね。そのためには、例えば来年度、地区補助金を使う時には前年度ですから、来年の2月1日から5月31日までに申請しなければならない、と。実施するのが次年度の7月1日から4月30日まで実施して5月31日までに報告書を提出する、と。日本2500地区では寄付がゼロのクラブには条件によって受給できなくなるということで、3年連続5年の間に3年間寄付がゼロならば、これは使えないということですね。5年の間に2年間であれば条件によってはクラブの状況によって出ず場合もある、と。いろいろ条件付きになっています。

12月にセミナーが帯広でありますけども、その常勤幹事セミナー、必ず地区補助金を使う場合は各クラブから1人以上、正式には2名ですが2500地区からは1名以上でいいということとなっていますけども、で

きれば会計ですとかクラブが任命した方ならばクラブが選んだ方であれば誰でもいいということです。厳密に
いえば会長のみですとか次年度の幹事さんですとか、あとセミナーの出席を必ず出席しなければ地区補助金は
使えないです。クラブの地区の間でMOUを覚書を交わすということで、それが12月1日から1月31日ま
でということにして、署名はエレクトとノミネー2人の方が署名する、と。

私たちが使ったグローバル補助金なのですが、それは重点分野に共通する目的を持ってなければなら
ないということと、相手国はロータリークラブがあるということに限定される。他方補助金の方はGDFとかW
Fとかにマッチングしなければいけないということですね。あと、補助金を受け入れるための専用口座、これ
を2名で管理することで、私が口座を作って笹谷さんと私の2名で管理をする、と。補助金は専用口座とい
うことで、その控え等、書類を5年間くらい保存しておかなければならないです。地区で受けるんですけども
その地区で作るべきではないのかなというように思うのですが、今回からはほとんど個人名で申請するよう
なことが多いです。必ず補助金支給から1年ごとに中間報告書を提出ですとか、事業終了後に最終報告書を提出
する、と。今回の事業もですね、3年計画でやっています。今年度は派遣で来年度は受け入れ、最終的な3年
目は最終調整という形で。

先ほど述べた重点分野なんですけども、今回は2番と4番の「疾病予防と治療」、「公衆の健康」、この2つを
選ばせてもらいました。パッケージグラントはこの3つの需要に限られていますので、今回は使いませんでした。
以前のGSEとVTTの違いということで、大きく変わったのはGSEの場合はWFからの旅費くらいし
か出なかったです。ところが今回はVTTで地区補助金とグローバル補助金が使え、と。私たちは事業が6
万ドル以上なのでグローバル補助金を使わせてもらった、と。その代わり分野は4つの分野に限定されていま
すよ、ということで、先ほどの2番と4番を使わせてもらいました。受け入れ派遣を、GSEの場合は単年度
に受け入れと派遣をやっていたのですが、VTTの場合は単年度で両方やらなくていいということです。受け
入れなら受け入れだけ、派遣なら派遣だけ、それでも構わない、と。

GSEの場合リーダーは団長ですが、原則ロータリーで。VTTの場合はロータリアンでなくても構わない。
例えば医療チームのように特殊なチームを作ってロータリアンがどうしてもいないというように条件が必要で
すね。メンバー数は通常GSEの場合は3・4名ということで今まで4名で行ってました。VTTの場合は特
にないのですがグローバル補助金の場合は最低2名ということで、今回チームは4名、年齢は18歳以上
で上限は無い、と。以前は40歳までという条件がありました。職業は、GSEの場合は2年以上勤務してい
るということで、地区補助金の場合は特に指定は無いです。グローバル補助金は同じように2年以上の勤務が
条件ですけども必ず重点分野に関連した職業ということでございます。GSEの場合はいろんな職業でも構わ
ないのですが、メンバーがロータリアンかどうかということです。GSEの場合メンバーはダメですよ、と。
ロータリアンメンバーの家族もダメですよ、と。VTTの場合グローバル補助金を使う場合は指導者の立場で
あればVTTならば構わない。ですから向こうに行っているいろいろこちらから指導する立場で行く場合はロー
タリアンでもメンバーになれます。目的としては職業研修ですから、お互いに学んだり教えたり、地元の職業に
ついて色々研究を深めていくという目的ですね。あとは地元の地域社会の人たちのスキルアップ、そういった
形を目的としています。

今回のプログラムなんですけども、新しく今年度の夢計画は実施されてから世界で初めてということでグロ
ーバル補助金を使った事業というのが初めてだということで、今回ロータリーの友に載せていただくとい
うことになりました。派遣先は3330地区のプーケットです。費用は6万ドル、期間は8月11日から25日ま
での、ちょうどお盆休みで行きやすいだろうということから設定しました。向こうには歯科医療職業研修チ
ームを派遣して、歯科医療の指導とデンタルユニット設置ということで歯医者さんの診察する診察台を3台寄贈
します。予算は補助金でGDF 3330地区が5000ドル、2500地区は1万ドルです。その他に現金で

2万ドル、GSE委員会の費用ですね。あとはWFから25000ドル、GDFに対する同額補助、現金に対しては半額ですね。それで合計6万ドル。出費の方は旅費等滞在費で15000ドルユニットが45000ドルになります。内容的には小学校だけではないのですが老人施設等の福祉施設、身障者の施設等での口腔診察と口腔衛生指導、それに歯みがき指導になります。日本では小さいころから歯磨きは当たり前ですが、タイではまだまだ歯磨きの習慣が無くてですね、大人は殆ど歯を磨いてなくて、虫歯になったら抜いてしまう、と。フィリピン等でもそうらしいですが、医療費が高いというのもあるんですね。日本みたいに保険を使って治療するということにはならないらしいです。あまりにも診察代が高すぎて。そういった意味では歯磨きは大事だということをお子さんと母親に対して指導をしていく、と。

今回のメンバーですが、森山さんが旭川北ロータリークラブの団長さんです。今74歳で、旭川の森山歯科医院の院長です。職業歴が47年。最初本人は心配していました。「この歳でゆるくないだろうか」と。かなり説得するのに時間はかかりましたが、「何とか頑張ってきます」ということで。他のメンバーは、帯広から菅安歯科医院の衛生士さん、それから旭川歯科学院専門学校で歯科衛生士の講師をしている方、職業歴12年。あと北見の松浦歯科医院の歯科技工士。松浦さんは北見西ロータリークラブ委員長、職業歴は13年。旭川北ロータリーのエルム駅前歯科医院の歯科衛生士さん、職業歴2年。こういったメンバーで、行ってきます。

4月からオリエンテーションが始まり、実際メンバーが向こうに行って何をやるかということが、皆分からない状態でした。とりあえず皆を集めてこのころには修正したけども許可が下りていない状況の中でとりあえず間に合わないからということでスタートしました。6月に第2回目のオリエンテーションがあり、この時実際に向こうに行って何をやるかの具体的な打ち合わせになっていました。3回目がメンバーだけで笹谷さんと私が入って、旭川歯科学院専門学校の部屋をお借りして、向こうで実際にやるものを具体的に打ち合わせようということで行いました。学院に紙芝居がありまして、「子ども達に見せるのにちょうどいいね」ということになりまして、こういった紙芝居の練習をしている、といった具合です。向こうで使うリーフレット（英語版とタイ語版）を作りたかったのですが、タイ語のフォントが一切無く、英語版のみで作りました。名札は英語とタイ語で。

8月11日にバンコクに到着し、次の日プーケットの7クラブ合同歓迎会。合同歓迎会の中で、紙芝居を披露します。次が13日トランのロータリークラブで夜歓迎会。ここでユニットを寄贈します。11～13日辺りは小船井さんと笹谷さんが先発隊で行っていて、向こうで合流したのです。14日がトランのデンタルナーススクール（向こうは歯科衛生士のことをデンタルナースという）の学校を訪問、そこでも紙芝居をして寄贈してきます。あとはプーケットロータリークラブに入れて、という所ですね。プーケットクラブはなかなか歴史があるクラブで日本の例会と似たようなことを行います。他のクラブはだらだらと長くなりますが、終わるのも9時過ぎです。15日はラワイ小学校で、ここは金沢大学から歯科医療のボランティアが10名くらい来てくれて、そこで合流します。あと森山団長が歯科の研修施設で。あとラワイのホスピタルで保健所的な存在ということで、ここにもデンタルユニットを寄贈します。16日はラワイスクール。ここでも歯みがきの指導とフッ素の塗布をしてきます。19日は身障者の支援施設を訪問し、歯みがき指導してきます。あと、小学校の所で紙芝居をしてきます。20日は老人保護施設で口腔衛生の検査と歯みがき指導。寄贈したデンタリーに行きます。21日も、幼稚園で虫歯予防の紙芝居と歯みがき指導をします。22日はインターナショナルプーケットホスピタル、国立総合病院の施設見学をします。これはまだ、オープン前だったんですけども、我々が行くということで寄贈したユニットを見せるということで仮オープンし、その様子を写真に収めてきます。そして最後に、7クラブ合同で総括の報告会をします。ジャックセーロンロータリークラブとバーナ交換ですけども、ここは女性だけのクラブですね。

そして帰国前に、市内観光をする、と。食べ物があったのですが非常においしかった、と話でした。八村

さんとも話し合ったのですが、オンライン申請が非常に厳しくて、笹谷さんも私も参りまして、未だにオンラインがうまくいきません。入力したらエラーが出たり、文字化けしたり、まだ直っていませんね。そういった中でも「3月に申請書を出せ」ということで、4月1日から申請の審査が始まるということで、4月に間に合うように申請しました。そして許可が下りたのが6月末くらいでしたね。その間にも、新千歳～バンコクの航空券が満席になってしまっていて、取れなくなって結局、成田経由ということで予算も若干オーバーしてしまいました。旅行会社もBCDトラベルというオランダに本社がある会社ですが、今までとは少し違いこの旅行会社も初めて扱うものですから、この会社もよく分かっていない、と大変でした。今度はメンバー1人1人が、直接オンライン申請で申請書を出さなきゃいけないということで、それがまた大変なんです。やはり若い人はパソコンにほとんど慣れていないとか、持ってないんですね。ほとんどスマホとか携帯ですから、そういった意味で我々が代わりに行わないといけないということですね。なりすましてパスワード聞いて、申請しなければならぬということ、そういった余計な仕事が増えるんですよ。そういった意味では今もちょっと大変です。しまいにはロータリー財団本部ともやり取りしなければならず、しかも英語だったものですから、英語こっちは分からないから笹谷さんに転送して笹谷さんに翻訳してもらいました。ホームページには翻訳ソフトがあるので、それである程度理解できたという状況です。私「もういやだ、来年はやらんぞ」と言ったのですが、「来年受け入れがあるので、もう1年頑張ってください」と言われまして。そういったことで、何とか終われる、と。VTTチームが無事終わりました。

なかなか発表する機会が無くて、今日良かったなあと思います。「地区大会で時間が欲しい」と言ったのですが、5分しかもらえなくてメンバー紹介で終わったものですから。せっかくこういう段取りをしたのに「使えないのかな？」と思っていたので、今回以外に用意していたものですから、今回本当にありがたく思っております。どうもありがとうございました。

【謝辞：那知会長】



本日は、釧路南ロータリークラブの福井克美君にVTTチームリーダーについてご講演をいただきありがとうございました。福井克美君は、2500地区第7分区パストガバナー補佐を経験され、現在2500地区ロータリー部門のVTTチームリーダーです。本日は、地区補助金・グローバル補助金について特に詳しく説明していただきとても参考になりました。釧路西ロータリークラブといたしましても、今後もロータリー財団に積極的に関与してまいりたいと思います。

本日は、貴重な講演ありがとうございました。

VTT チームリーダー 福井 克美 (釧路南RC)

「職業研修チームの派遣を終えて」

今年の8月に、第3330地区タイ王国に、歯科医療チームを2週間派遣しました。

今回は、このVTT 職業研修チーム (Vocational Training Team) について報告させていただきます。

以前は、GSE 研究グループ交換という形で職業研修をしていましたが、今年度から新しく VTT 職業研修チームとなりました。GSE は目的がはっきりしていなくて、職業研修より職業見学や観光に近い形になっていました。このようなことでは成果がないということで、新しく VTT が生まれました。

これは、目的がはっきりしていて、グローバル補助金を使うには、ロータリーの6つの重点目標の中から選んでチームを結成しなければなりません。今回は「疾病予防と治療」、「母子の健康」ということで、歯科医療チームを派遣することになりました。

3年前から世界で100地区をパイロット地区に選んで「未来の夢計画」に向かって準備をして、今年度から全世界で実施されるようになりました。2500地区は残念ながらパイロット地区に選ばれなかったため、この3年間は、VTTの準備を進める準備期間としていました。

今回のタイ王国へのVTT派遣は、「未来の夢計画」が始まってから世界で最初の派遣の実施でした。事業は、チームの派遣とデンタルユニット（歯科治療ユニット）3台の寄贈ということで、予算が6万米ドルになったため、R財団のグローバル補助金を使用しました。

R財団への申請は、今までのやり方とは全く違い、グローバル補助金申請の段階でこんなに苦労するとは思っていませんでした。それは、R財団のホームページに私とチームメンバー全員が一人一人アクセスして自分たちでオンライン申請をしなければなりません。メンバー5名中3名はパソコンが苦手でなかなか上手くいきませんでした。おまけにR財団のシステム不具合でエラーの連続でした。この申請書は、派遣側と受入側の両方の関係者が同じ画面にそれぞれの項目に入力していかなければなりません。入力項目も多く事業の目的や成果、持続性があるか、事業終了後の検証はどうするのかを求められます。我々の入力が終われば最後に両国の責任者とガバナーがそれぞれ承認するようになっています。4月から審査が始まるということで3月末までには申請を終わらせようと四苦八苦していました。R財団日本事務所に聞いても個人情報の問題があり、我々の申請画面が見られないということでした。なんとか全ての入力が終わったのが4月末ごろです。

渡航ルートは、千歳空港からバンコクまで直行便があるので、これを利用しようと思っていましたが、5月末には満席になっていました。R財団から承認がおりたのは6月です。やっと許可が下りたと思ったら今度は航空券の手配が、旅行会社はBCDトラベルという外資の会社です。しかもメンバー個人個人でカード決済して欲しいということでした。これには納得いかないの地区で立て替えてはどうかと掛け合ったのですが、結局は私がみんなの分をカードで決済することになりました。立て替えた旅費はR財団から受け取るのですが、グローバル補助金専用の口座を作って欲しいということで新しく口座を作りここに振り込んでもらいました。

メンバーの派遣準備は、4月から4回のオリエンテーションで準備を進めていたので問題なく順調に行きました。今は、R財団のホームページからオンラインで報告書を作成しているところですが、またシステムエラーがあり、団長の承認ができない状況です。

地区大会でVTTの報告時間を設けていただきましたが、与えられた時間が5分しかなくてメンバー紹介と簡単な報告しかできませんでしたので、今回、西RCさんの例会でVTTの報告をさせていただきましたことに心より感謝を申し上げます。次年度は3330地区からの受け入れがありますので今後も皆様のご協力をよろしく願いいたします。

《例会運営委員会 張江委員長》

11月11日 在籍数 27名

「編集:三木委員」

出席者 18名 欠席者 9名

出席率 55.6%

会報委員長: 大場 恵治 副委員長: 坂口 裕二

委員: 佐久間 好明 三木 克敏 小泉 和史